

# ○ 田 山 藤 丸 (15分)

【一括方式】

## 1 農水産物の消費と販路の拡大について

令和2年度は佐世保市の農林水産業、特に水産市場業界にとって絶不調の年となりました。新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛等によって、インバウンド需要や大消費地への出荷が減少し、地元ホテル・外食産業へ納入している仲卸、小売の経営はますます厳しく、水産物の在庫滞留や価格低下等の影響が生じています。加えて、本年度は全般的に悪天候、海況異変、漁獲魚種の変化、人員不足による処理能力の低下等が水産市場の取扱金額の大幅な減少につながりました。

そこで、現在の厳しい状況を打開するべく、本市が誇る農水産物の消費量を回復させ、販路拡大を図るための施策について、情報流・物流の高度化や協業化、オンライン等の活用を視野に本市の考えを伺います。

- 水産市場を取り巻く課題について
- 西九州食財の中長期戦略について
- 食育事業の強化について

〔市 長〕  
〔教 育 長〕

## 2 造船業・海洋産業・防衛産業の可能性について

海軍工廠時代より長きにわたって本市の経済を牽引してきた佐世保重工業株式会社による新造船事業の休止は、250名の希望退職者の募集にとどまらず、協力企業をはじめ市内の地域経済に与える影響が懸念され、さらなる人口流出や技術力の消失につながるおそれがあります。一方で、佐世保港は天然の要衝として地の利があり、近年のアジア太平洋地域における安全保障環境の変化を背景に、海上自衛隊による崎辺東地区の利活用や水陸機動団による島嶼防衛の即応体制等、拠点としての重要性が高まりつつあり、佐世保重工も艦船等の修繕事業を柱とした事業の再構築を打ち出しました。

そこで、防衛産業の維持・育成・高度技術に対応できる造船業への最適化に向けた後押しをはじめ、新たな防衛関連産業や研究機関の誘致、さらに洋上風力や潮流発電等の新技術、海洋産業クラスターの形成等、製造業の再生へ本市の特性を生かし、官民連携で取り組むべきではないでしょうか。国・県の動向を含め、今後の可能性について本市の考えを伺います。

〔市 長〕

# ○ 萩 原 活 (20分)

【一括方式】

- 1 佐世保市において人口減少対策として取り組んでいる、少子化対策事業、U J I ターン対策事業、婚活サポート事業の取り組み状況と成果について

コロナ禍において人の移動や集まり、接触が制限される中、佐世保市が人口減少対策として取り組んでいる、少子化対策、U J I ターン事業、婚活サポート事業がどのような対策と手法で実施されているのか、その実績、成果について。

〔市 長〕

- 2 コロナ禍における、新卒者の就職活動状況と、受入れ態勢に必要な企業誘致について

○ 令和2年1月からのコロナ禍において、市内における高校卒業者、大学卒業者の就職状況と県内就職、市内就職の状況について

○ 新卒者受入れ先として、一昨年完成した相浦工業団地の企業誘致と市内企業誘致について

〔市 長〕

# ○ 小 田 徳 顕 (10分)

【一括方式】

## 1 生活保護行政について

コロナ禍の中で、生活困窮者となる人々が増えている。そこで、市民の命を守る施策の根幹に当たる生活保護行政について本市の見解を問う。

- 他市と比較しての生活保護の状況
- 扶養照会の状況
- 最後のセーフティネットとしての生活保護行政の推進

〔市 長〕

## 2 佐世保重工業株式会社の新造船事業休止について

佐世保重工業株式会社の新造船事業休止と希望退職者250名を募るとの発表があった。従業員の雇用を守ることを最優先すべきだと考えるが、この件について本市の見解を問う。

〔市 長〕

## 3 石木ダム建設事業について

石木ダム建設事業の県道付替工事で、これまで着工できずにいた区間に土のうや土砂が持ち込まれるなど県と住民との対立が緊迫している。工事を止め、住民と話し合うことを長崎県に求めるべきだと思うが、本市の見解を問う。

〔市 長〕  
〔水 道 局 長〕